

2016年11月号

特集：レーザー加工応用

国産の加工用ファイバーレーザー開発および炭素繊維材料切断応用の国家プロジェクトが2014年で終了し、ドイツにおいても航空機、車両用の炭素繊維材料加工に向けたレーザー応用が加速しており、レーザー3Dプリンタの並んで産業応用の目玉となっている。一方で、様々な材料の表面にレーザーで超微細特機を形成する技術も大面積化技術も含めて実用化が図られている。これらの研究開発記事を中心に特集する。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	産業応用に向けた国産高出力ファイバーレーザー開発	古河電気工業
3	コヒーレントにファイバーレーザーを束ねる位相同期結合技術	大阪大学
4	水ジェット切断を速度と精度で置き換える炭素繊維材料のレーザー切断加工	産業技術総合研究所
5	表面プラズモンで解き明かすレーザー誘起表面ナノ周期構造生成	東京農工大学
6	ジルコニアセラミックス表面へのフェムト秒レーザーでの表面修飾	産業技術総合研究所
7	光渦レーザーはアブレーション加工を変えるか？	千葉大学
8	フェムト秒レーザーで直接書き込む導波路レーザー作製	慶應技術大学
9	旋盤加工技術でマイクロレーザーリング共振器をつくる	慶應技術大学

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2016年10月25日

申込締切：2016年9月20日

原稿締切：2016年9月30日